

疾患名

膿疱性乾癬

病気について

膿疱性乾癬は発熱や四肢のむくみとともに、全身の皮膚が赤くなり、膿疱が多発してくる皮膚疾患です。膿疱は無菌性膿疱と呼ばれ、細菌感染とは無関係に膿がたまったもので、他人には感染しません。尋常性乾癬から移行する例としない例がありますが、再発を繰り返すことが特徴です。

治療について

ステロイド外用剤、活性型ビタミンD3外用剤、両者の配合製剤、紫外線療法、エトレチナート、シクロスポリン、メトトレキサート、生物学的製剤、顆粒球単球吸着除去療法などの治療が行われています。

アフレスリス療法の適用とその実施

保険適用：あり（薬物療法が無効又は適用できない中等症以上の膿疱性乾癬患者）

アフレスリス療法の種類：顆粒球・単球吸着療法

回数：一連の治療につき1クールを限度として行い、1クールは週1回で5週間を限度として行います。